

大使館からのお知らせ

【安全情報4月分】当地報道より、殺人、強盗事件や自然災害など、先月4月に報じられた皆様の安全に係わる情報の概要をお知らせしています。

1 司法警察（O I J）によると、今年はじめから4月末までの殺人件数は165件で、昨年同時期と比較して44件減少したと発表されました。

2 本年夏、第25回参議院議員通常選挙が実施されます。海外からの投票には、在外選挙人名簿登録が必要です。登録には、3ヶ月程度かかる場合がありますので、登録されていない方は、是非早めの手続きをお願いいたします。

●サンホセ県

「セントロのカジノに強盗が入り、警備員を殺害」（強盗殺人事件）

4月5日午前2時40分、サンホセ市セントロのカジノE L D o r a d oに武装した男性9人が強盗に入り、店内にいた客やレジ金庫等から総額約800万コロンと1,100ドルを奪い逃走した。付近にいた警備員が阻止しようとしたが、4発の銃撃を受け死亡した。犯人は車2台に乗って逃走、このうち2人は市警察の制服を着用していた。

「63歳男性、銃撃され死亡」（殺人事件）

4月23日午後7時45分、クリダバ市で63歳の男性が自宅に戻ったところ、オートバイに乗った2人組がやってきて、銃撃され死亡した。財布等も盗まれているため、警察は強盗殺人とみて捜査している。

「警備会社に強盗」（強盗事件）

4月28日午後7時46分、ティバス市にある警備会社に同社の制服を着用した2人組が強盗に入った。持っていたけん銃で従業員を脅し、現金10万コロン、けん銃23丁、銃弾を奪って逃走した。その後の調べで、この警備会社はけん銃の保管状況や入室規制について、定められた措置を行っていなかった。

●リモン県

「33歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

4月2日午後11時30分、リモン市で33歳の男性が自宅にいたところ、突然男性2人が入ってきて20発以上の銃撃を受け、殺害された。被害者には前科があった。

「39歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

4月9日午前4時00分、リモン市内で口論していた男性複数名のうち、39歳の男性1名が何者かに銃撃され殺害された。被害者には、強盗や過失致死等の前科があった。

「男性4人、銃撃されケガ」(傷害事件)

4月24日午前0時過ぎ、ポコシ市内で男性4人が乗用車で走行していたところ、近づいてきた車から突然銃撃を受けた。この銃撃を受け4人がケガを負い、1人は重体となった。詳細は調査中。

「54歳女性、銃撃され死亡」(殺人事件)

4月25日午前0時00分、ポコシ市内で54歳の女性が46歳の恋人男性に銃撃され死亡した。その後、男性も自殺した。女性は日頃からDVの被害に遭っていた。

「バーで男性2人、銃撃されケガ」(傷害事件)

4月28日午前1時45分、ポコシ市にあるバーに覆面をつけた男性4人の強盗が入った。店内にいた客の25歳男性とバーのオーナーの息子31歳が銃撃されケガを負った。

●カルタゴ県

「59歳男性、頭部等殴られ重体」(強盗傷害事件)

4月24日、カルタゴ市で農業に従事している59歳の男性が自宅にいたところ、複数の男性に襲われ野菜の売上金と携帯電話等を盗まれた。男性は顔や頭部を殴られ意識不明の重体となった。

「24歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

4月26日午後10時20分、24歳男性がトゥリアルバ市の友人宅に行き、夜買い物に出かけた。途中、2台の車に乗った覆面の男性に銃撃され死亡した。被害者は強盗や麻薬所持等の前科があった。犯人2人は、その後逮捕された。

●アラフエラ県

「46歳男性、刃物で殺害」(殺人事件)

4月1日午前12時20分、アラフエラ市内で未成年の男性が46歳の男性に刃物で襲われた。未成年の男性が刃物で抵抗した結果、襲ってきた男性を刃物で殺害してしまった。

「32歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

4月5日午前3時30分、アラフエラ市内の公道で32歳の男性が銃撃され殺害されているのが発見された。被害者には強盗、強姦、傷害の前科があった。

●エレディア県

主要事件の報道はなし。

●プンタレナス県

主要事件の報道はなし。

●グアナカステ県

主要事件の報道はなし。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆

TEL : (506) 2232-1255

FAX : (506) 2231-3140

E-mail : japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)

または tadashi.washio@mofa.go.jp (鷺尾) まで